

地方自治体の負担増回避を 近隣と連携して取り組むべし

国の動向をしっかり
チェックしましょう



立川 博敏
(たちかわ ひろとし)

録画映像
はこちら



スマートシユリンクについて

「これから街づくりや地域づくりでスマートシユリンクの手法の中で新たに活用できる方策について。

企画財務部長 現在策定中の第6次結城市総合計画後期基本計画の策定方針で「人口の減少を緩やかにし、市民ニーズに応えながら、「住みたい、住み続けたい」と選ばれ

市長 その地域のあり方そのものを、地元の人たちとしっかりと議論し、どういった形がこれから



正化計画などにより住みやすく持続可能なコンパクトなまちづくりを促進していくきたい。

ともしつかり議論をしながら、賢く縮むというこの政策課題に取り組んでいく必要があると考えている。

令和9年度の介護保険制度改正のポイントについて

10年20年後、その地域が維持できるかを、地元の人たちと共通理解を図りながら進めていきたい。どうすればこの地域全体が良い地域社会になつていくか、周辺の市町村

保健福祉部長 国では「認知症施策の推進・地域共生社会の実現」や「介護予防・健康づくりの推進」及び「持続可能な制度の構築、介護人材確保・職場環境改善」等を検討項目として議論が進められている。



本市でも国の制度改正に合わせて対応していくとともに、持続的かつ安定的な制度運営を行っていきたい。

スマートシユリンクについて

る自治体を目指す」こととしており、さらに、施策の総括的目標について、施

ウエルビーイングの向上を考慮しながら策定を進めている。今後の具体的な取組としては、立地適

10年20年後、その地域が維持できるかを、地元の人たちと共通理解を図りながら進めたい。どうすればこの地域全体が良い地域社会になつていくか、周辺の市町村ともしつかり議論をしながら、賢く縮むというこの政策課題に取り組んでいく必要があると考えている。

具体的な介護保険制度改訂としては、ケアマネジメントに要する費用の利用者負担や介護保険サービスの利用者負担割合の見直し等が検討されて

いる。

2027年度介護保険制度改正について

改革としては、ケアマネジメントに要する費用の利用者負担や介護保険サービスの利用者負担割合の見直し等が検討されて

いる。